

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	社会保険オンラインシステムの運用等に必要経費	事業開始年度	昭和48年度	作成責任者		
担当部局	年金局	担当課室	事業企画課	事業企画課長 宮本		
会計区分	年金特別会計業務勘定	上位政策	社会保険オンラインシステムの運用等に必要経費			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	国民年金法第74条2項及び厚生年金保険法第79条2項	関係する計画、通知等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	全国312の年金事務所と日本年金機構を通信回線で結び、国民年金、厚生年金保険、健康保険の適用、保険料徴収、年金裁定及び支払、年金相談等の業務を迅速かつ的確に行う。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日本年金機構と年金事務所等をオンラインで結び、正確かつ迅速な事務処理を実施。					
実施状況	引き続き、膨大な被保険者及び年金受給権者の記録を長時間に亘り管理し、迅速かつ正確に事務処理を行う。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	73,735	43,487	56,221	46,664	58,492
	執行額	-	-	49,947		
	執行率	-	-	89%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	当該支出は、社会保険オンラインシステムの運用等のために支出されるものである。				
	見直しの余地	社会保険オンラインシステムについて、競争入札を可能し運用調達コストを削減するため、平成18年3月に策定した「社会保険業務に係る業務・システム最適化計画」に基づき、システムのオープン化(専用機器から汎用機器への移行、記録管理及び基礎年金番号管理システムのソフトウェアの再構築等)を図り、汎用性のある効率的なシステムの構築を着実に実施する。				
予算監視の所見率化	事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。					
補記						

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

厚生労働省
9,203百万円

(税システムの見直しに係るシステム開発等)



(株)日立製作所	5,170百万円
(株)PFU	975百万円
(株)エヌティティデータ	629百万円
日立公共システムサービス(株)	669百万円
(株)エヌティティデータアイ	484百万円

厚生労働省
17,394百万円

(記録管理・基礎年金番号管理システムの利用料等)



(株)エヌティティデータ	17,392百万円
NTT東日本料金サービスセンター	1百万円

厚生労働省
23,351百万円

(電子計算組織用装置の賃貸借等)



日本電子計算機(株)	18,778百万円
(株)日立製作所	4,573百万円

費目・用途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について記載する。用途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)日立製作所			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
雑役務費	税システムの見直しに係るシステム開発	5,170			
計		5,170	計		0
B.(株)エヌティティデータ			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
雑役務費	記録管理・基礎年金番号管理システムの利用料	17,392			
計		17,392	計		0
C.日本電子計算機(株)			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
借料	電子計算組織用装置の賃貸借	18,778			
計		18,778	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0